

3都市連携スタートアップ・エコシステムの取り組み～KSII～



Kansai Innovation Initiative
関西イノベーションイニシアティブ

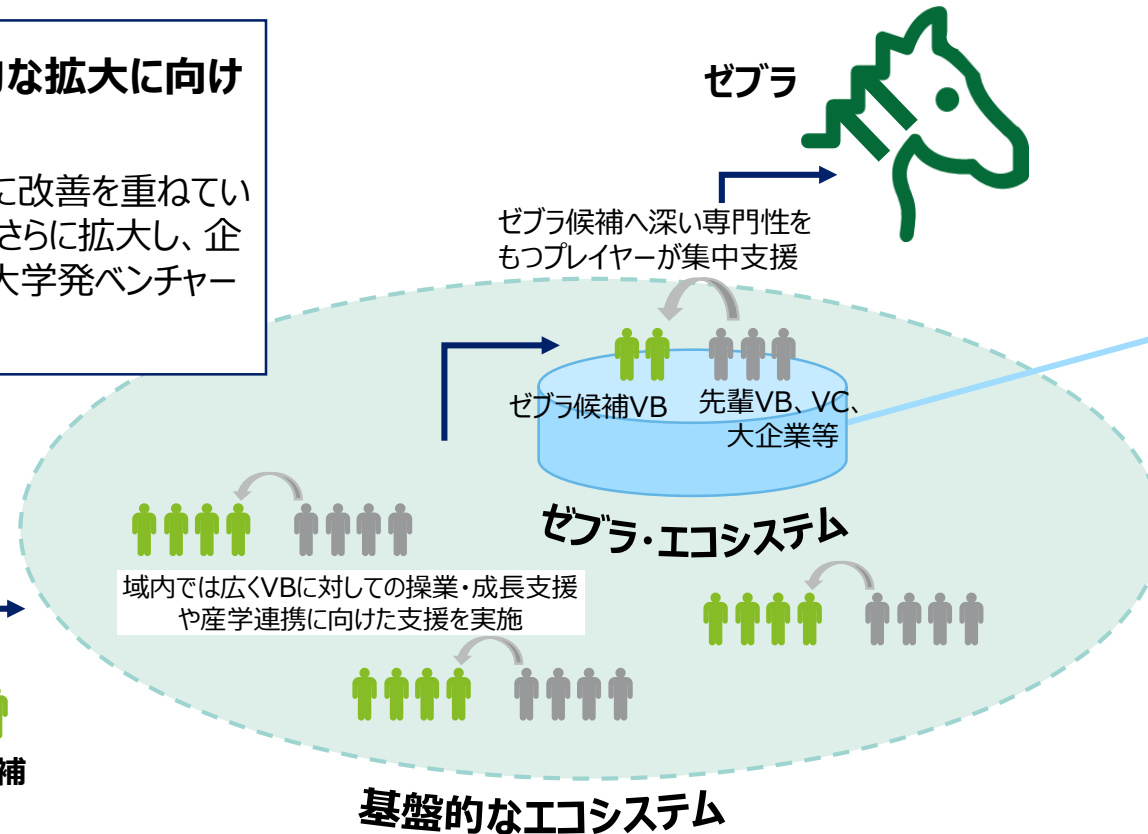
2022年度の事業の方向性

A

基盤的なエコシステムの継続的な拡大に向けた取組

- 昨年度までの取組を継続し、さらに改善を重ねていく事で、産学融合のエコシステムをさらに拡大し、企業と大学の連携案件の増大や、大学発ベンチャーのすそ野拡大を目指す

起業家・起業家候補



B

ゼブラ創発に向けたゼブラ・エコシステムの形成

- 社会課題解決が短期間のうちに期待できるような優れたシーズを有するゼブラ候補への支援の為に、新たにゼブラ・エコシステム形成に向けた取組を開始する
- 具体的には、優位性がある技術や特許保有など、企業としての成長性、および社会課題解決に向けた実現性等を加味して選定し、ゼブラ候補に向けて個別伴走による支援を予定
- 個別伴走にあたっては、当該企業が進出を考える市場の専門家、先輩ベンチャー企業、ベンチャーキャピタル等の個社ニーズに応じたメンバーを揃え、濃密な支援を行う事を想定。当該取組により、ゼブラ創発に向けた道筋を明確化する

C

中長期的な産学融合拠点の仕組み化に向けた連携会議体（仮称：産学融合拠点創出会議）の新設

- 当エリアが補助事業期間後にも持続可能な形で産学融合を起こし得る仕組みを実装するため、更には京阪神の関係者が一堂に会し、連携することで取組を加速度的に高度化するために、新たに産学融合拠点創出会議（仮称）の組成に向け、取り組む
- 当該会議体では産官学金各界をリードするキーパーソンを巻き込むことを予定

3都市連携スタートアップ・エコシステムの取り組み～BiocK～

グローバルバイオコミュニティ【関西圏】バイオコミュニティ関西 (BiocK) との連携

研究開発から事業化までに多様な主体が関わる戦略的なバリューチェーンを構築し、バイオ分野で世界をリードする「グローバルバイオコミュニティ」に関西圏が「認定」



バイオコミュニティ関西 (BiocK)

事務局：NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議
公益財団法人都市活力研究所



医薬品、医療機器、発酵等のバイオ関連産業と研究拠点の集積に加え、大阪、京都、神戸の国際的な認知度の高さといったポテンシャルを生かし、企業中心の分科会活動を通じてスタートアップ支援や大学・研究機関間の連携を加速させることで、**ライフサイエンスのみならず幅広い市場領域を対象に、バイオの力による社会課題の解決を目標としたエコシステムを構築**

京都大学
京都大学iPS細胞研究所 (CiRA)
京都大学iPS細胞研究財団 (CiRA_F)
理化学研究所 (けいはんな)
地球環境産業技術研究機構 (RITE)
京都リサーチパーク (KRP)

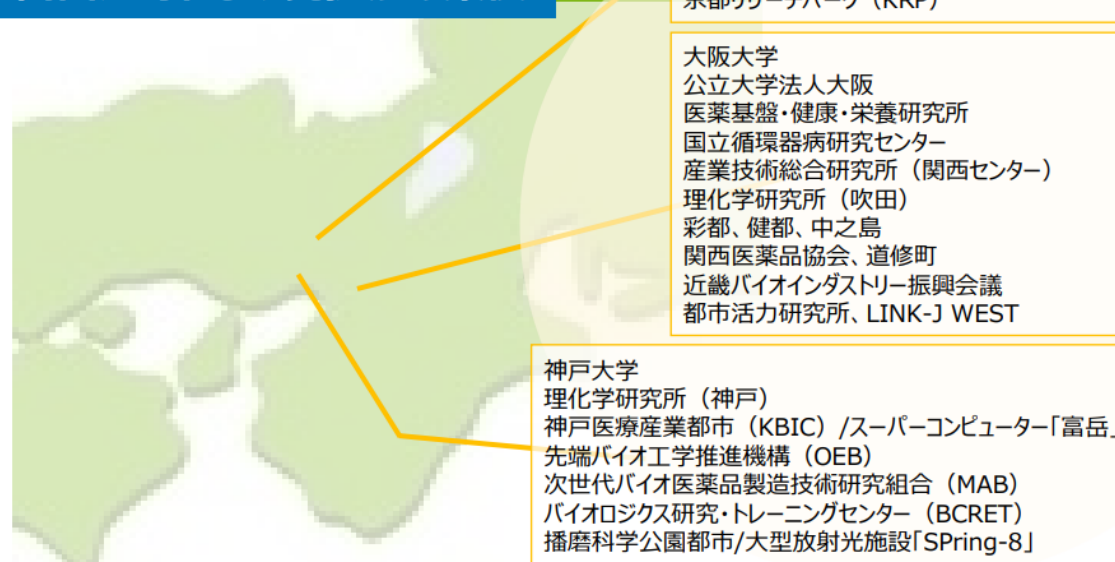
大阪大学
大阪公立大学
医薬基盤・健康・栄養研究所
国立循環器病研究センター
産業技術総合研究所 (関西センター)
理化学研究所 (吹田)
彩都、健都、中之島
関西医薬品協会、道修町
近畿バイオインダストリー振興会議
都市活力研究所、LINK-J WEST

神戸大学
理化学研究所 (神戸)
神戸医療産業都市 (KBIC) /スーパーコンピュータ「富岳」
先端バイオ工学推進機構 (OEB)
次世代バイオ医薬品製造技術研究組合 (MAB)
バイロジクス研究・トレーニングセンター (BCRET)
播磨科学公園都市/大型放射光施設「SPring-8」

「スタートアップエコシステム拠点都市」と「グローバルバイオコミュニティ」が連携しネットワークを活用し成果の向上を目指す

多様性と厚みのある産業集積

関西が誇る研究拠点の集積



KSAC*、KSII**
などの取組みにより
大学や研究機関の
連携が進みつつある

- ・ 京阪神スタートアップ
アカデミア・コアリション
- ** 関西イノベーション
イニシアティブ

スタートアップ・エコシステム拠点都市機能強化プログラム（京阪神連携事業）



- 2025年の大阪・関西万博の開催を契機に、域内外のスタートアップが京阪神エコシステムを通じてグローバルに活躍するための環境整備を行う。特に、京阪神エコシステムの更なる発展に向けた共通の課題に対して、京阪神が一体となって取り組むものと、大阪、京都、神戸の各都市の強みの強化に資する事業を実施。
- プログラム終了後の将来像として、グローバルエコシステム拠点都市として、国内・海外のスタートアップや投資家を京阪神に呼び込み、ネットワーク形成をすることで、世界有数のエコシステム都市として認知度向上や、スタートアップのグローバル展開に向けたゲートウェイをめざしていく。

<京阪神合同事業>

【1】京阪神合同ブランディング・PR・イベント事業

万博を見据えて、京阪神一体となったブランディングや広報、大規模イベント等を実施し、国内外における京阪神スタートアップ・エコシステムの認知度向上をめざす。具体的には、以下の内容を実施。

- ① 合同ブランディング方針・資料策定（日・英）
- ② 京阪神の取り組みについての広報活動
- ③ 京阪神合同のイベント企画・運営

【2】グローバル人材確保事業

京阪神の研究開発型の大学発スタートアップ等を対象に、大学発スタートアップの経営チーム強化に向け、海外経験等を有する経営幹部人材獲得の支援プログラムを実施する。

- ① 参加企業募集イベント
- ② 経営幹部人材獲得支援のためのHR関連講座
- ③ 個別相談（メンタリング）
- ④ 経営幹部人材とのマッチング

スタートアップ・エコシステム拠点都市機能強化プログラム（京阪神連携事業）



<大阪・京都・神戸 各地域事業>

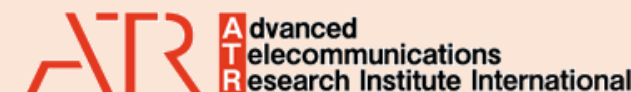
【大阪】

大阪・京阪神が強みをもつライフサイエンス分野で、スタートアップのアジア展開に向けた各種プログラムを実施し、ライフサイエンス分野のユニコーン候補の創出へのしかけづくりや、2024年頃を目途に海外関係機関の大阪拠点開設につなげていくことに取り組み、ライフサイエンスを強みとするイノベーション・エコシステムの構築をめざす。



【京都】

国内外のスタートアップの海外展開支援に向けて、アクセラレーション・インキュベーションプログラムや、ライフサイエンス分野に関するアメリカ展開プログラムを実施。世界のイノベーション拠点との関係を構築に取り組み、世界のイノベーション都市でのスタートアップのビジネス展開を支援する。また、ライフサイエンス分野のエコシステムが発達しているボストンへの進出支援を行い、京阪神のライフサイエンス分野のエコシステムの強化につなげていく。



【神戸】

京阪神のエコシステムがグローバルなゲートウェイとしての機能を強化していくため、ヨーロッパの中核的なスタートアップ支援機関と連携を強化し、海外スタートアップの京阪神エリアへの進出強化をめざす。事業実施を通じて、海外スタートアップ件数への貢献や、拠点都市と海外のエコシステムとの連携強化をめざす。

3都市連携スタートアップ・エコシステムの取り組み～自治体～

2022年2月10日開催【国際イノベーション会議 Hack Osaka 2022】

➤ 主催：国際イノベーション会議Hack Osaka実行委員会

（大阪市、（公財）大阪産業局、（公財）都市活力研究所、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）大阪本部）

➤ 万博に向けて実証実験が進む次世代航空モビリティや、まちづくりに欠かせないインフラ等に着目したテーマを設け、国内・海外スタートアップによるセッション、ピッチ、商談会を実施。また、大阪・関西で生まれたスタートアップや大学発シーズの紹介等を通し、世界にイノベーションのネットワーク拡大に取り組む。

Theme Session 1

大阪から始まる次世代の移動 人がもっとつながる未来へ



Reverse Pitch

大阪・関西を代表する企業の共創二一ス、大阪・関西万博がフォーカスする分野とは…？



Theme Session 2

産学融合の聖地 大阪・関西を目指して



関西最大級のスタートアップの祭典

 Hack Osaka 2022

2022.2.10 THU. ▼